



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東  
 コード番号 6078 URL <https://www.valuehr.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 美智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室管掌 (氏名) 藤田 源太郎 TEL 03-6380-1300  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,140	6.5	181	△23.8	172	△24.6	113	△24.9
2019年12月期第1四半期	1,071	21.7	238	44.0	228	—	150	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 71百万円 (△59.6%) 2019年12月期第1四半期 177百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	9.56	9.44
2019年12月期第1四半期	12.72	12.57

(注1) 前年同四半期と比較して、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が減少している理由については、添付資料の2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(1) 経営成績に関する説明」をご参照ください。

(注2) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	12,434	2,547	20.5	215.00
2019年12月期	11,829	2,593	21.9	218.92

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 2,545百万円 2019年12月期 2,591百万円

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	13.00	—	20.00	33.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	7.50	—	10.00	17.50

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。なお、2019年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、株式分割前換算で2020年12月期 (予想) の年間配当金合計は35円となり、実質2円の増配となっております。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,024	17.3	870	16.3	825	2.4	478	△13.6	40.38

(注1) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注) 詳細は、添付資料の7ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	12,156,400株	2019年12月期	12,155,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	317,042株	2019年12月期	317,042株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	11,839,111株	2019年12月期1Q	11,852,642株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業領域においては、世界的に感染拡大している新型コロナウイルス感染症の影響を受け、従業員一人ひとりの健康管理と労働生産性の維持・向上に向けた健康増進の重要性がより一層の高まりを見せております。また、企業における従業員に対する健康管理（健診受診と保健指導の実施、メンタルヘルス対策や過重労働対策等）への取り組みは、従来より継続している働き方改革の実践や健康経営・健康投資の推進といった観点、加えて安全配慮義務、生産性向上、企業価値向上の観点からも、ますます強化される傾向にあります。

そのような環境のもと、当社グループは「健康管理のインフラを目指す」を事業ビジョンとして、健康保険組合、企業、個人を対象に、独自のシステムを用いた健康管理サービスを以下の2つの事業セグメントにより展開しております。

#### バリューカフェテリア事業

主に健康保険組合、企業等の団体などを対象としたバリューカフェテリア®システムと、これを構成する健康管理各種サービス（健診予約システム、健診結果管理システム等）やカフェテリアプランの提供及びこれらのシステムを使った健康管理に付随する事務代行サービス、並びに健診機関への業務支援サービス等で構成されております。

なお、バリューカフェテリア事業においては、契約団体の構成人数に応じたバリューカフェテリア®システム等のシステム利用料及び健康診断の費用精算や結果のデータ化等の事務代行料等を主な収入としております。

#### HRマネジメント事業

主に健康保険組合のより効率的な運営の支援を目的として、健康保険組合の新規設立支援のコンサルティング及び運営支援としての人材派遣、BPOサービス等の業務で構成されております。これにより、健康保険組合の新規設立から運営支援まで一貫したサポートを行っております。

なお、HRマネジメント事業においては、健康保険組合の新規設立支援に係るコンサルティング料と健康保険組合への人材派遣料、BPOサービス料等を主な収入としております。

当第1四半期連結累計期間は、前期に引き続き働き方改革や健康経営の推進などの社会環境の変化を背景に、バリューカフェテリア事業での新規顧客の獲得や既存顧客によるサービス利用の受託業務が増加しておりますが、新型コロナウイルス感染症による影響についても少なからず始めていると見られます。また、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前期より大きく減少した主な要因は、前年同四半期におきまして一過性の大型システム開発案件の受注があったこと、および健康管理に関する事務代行サービスの強化と今後の需要への対応のための増員等により費用が増加したことによります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,140,727千円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益は181,771千円（同23.8%減）、経常利益は172,121千円（同24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は113,220千円（同24.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### バリューカフェテリア事業

当第1四半期連結累計期間は、健診代行や健康管理関連事業において、新規顧客の獲得と既存顧客からの受託業務の増加により取扱業務が拡大したことから当該関連収入が増加しました。一方、営業利益が減少した主な要因は、前年同四半期におきまして一過性の大型システム開発案件の受注があったこと、および健康管理に関する事務代行サービスの強化と今後の需要への対応のための増員等により費用が増加したことによります。これにより、売上高は897,374千円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益は278,925千円（同13.2%減）となりました。

#### HRマネジメント事業

当第1四半期連結累計期間は、前期に受注した健康保険組合の設立支援コンサルティングの継続対応に加え、新規設立の健康保険組合運営支援業務等の受注が増加しました。一方で新規BPOサービス受託および健康保険組合運営支援に対応する労務費等の経費が増加しております。これにより、売上高は243,353千円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は60,163千円（同0.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,415,610千円(前連結会計年度末は3,143,569千円)となり、272,041千円増加しました。これは、現金及び預金は207,443千円減少しておりますが、当第1四半期連結累計期間はカフェテリアサービス利用のピーク時期にあたることから、その他の流動資産に含まれる未収入金が469,737千円増加したことが主な要因です。固定資産は9,018,634千円(前連結会計年度末は8,686,382千円)となり、332,251千円増加しました。これは、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が511,148千円増加しましたが、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が190,655千円減少したことが主な要因です。これらの結果、総資産は12,434,244千円(前連結会計年度末は11,829,951千円)となり、604,293千円増加しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,562,072千円(前連結会計年度末は3,519,860千円)となり、42,212千円増加しました。これは、当第1四半期連結累計期間はカフェテリアサービス利用のピーク時期にあたることから、その他の流動負債に含まれる未払金が315,581千円増加したこと及び営業預り金が109,492千円増加しましたが、預り金が148,380千円、未払法人税等137,732千円及びその他流動負債に含まれる前受金が80,816千円減少したこと等が要因です。固定負債は6,324,531千円(前連結会計年度末は5,716,263千円)となり、608,267千円増加しました。これは、主に長期借入金が609,008千円増加したことが主な要因です。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,547,640千円(前連結会計年度末は2,593,827千円)となり、46,186千円減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益は113,220千円でしたが、配当金118,385千円の支払いを行ったことにより利益剰余金が5,165千円減少したこと、その他有価証券評価差額金が41,367千円減少したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の事業への影響を現時点で合理的に見積もることは困難であるため、業績への影響が明らかになった時点で速やかに公表する予定です。つきましては、現時点での業績予想は新型コロナウイルス感染症の影響を含めない前提で2020年2月14日に公表いたしました内容から据え置いております。

\*「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,364,210	2,156,766
売掛金	408,552	403,963
商品	1,598	3,517
仕掛品	4,058	5,205
貯蔵品	31,288	30,312
その他	333,861	815,845
流動資産合計	3,143,569	3,415,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	836,223	825,576
土地	6,224,802	6,224,802
その他(純額)	527,289	1,035,271
有形固定資産合計	7,588,315	8,085,650
無形固定資産	304,782	312,168
投資その他の資産	793,283	620,815
固定資産合計	8,686,382	9,018,634
資産合計	11,829,951	12,434,244
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	110,480	98,310
短期借入金	256,335	272,953
未払法人税等	204,028	66,295
預り金	1,630,672	1,482,291
その他	1,318,342	1,642,221
流動負債合計	3,519,860	3,562,072
固定負債		
長期借入金	5,547,610	6,156,619
その他	168,653	167,912
固定負債合計	5,716,263	6,324,531
負債合計	9,236,124	9,886,603
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	529,344	529,519
資本剰余金	573,256	573,431
利益剰余金	1,740,260	1,735,095
自己株式	△317,437	△317,437
株主資本合計	2,525,424	2,520,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,323	24,955
その他の包括利益累計額合計	66,323	24,955
新株予約権	2,079	2,077
純資産合計	2,593,827	2,547,640
負債純資産合計	11,829,951	12,434,244

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,071,399	1,140,727
売上原価	600,867	694,776
売上総利益	470,531	445,951
販売費及び一般管理費	231,837	264,180
営業利益	238,694	181,771
営業外収益		
受取利息	4	5
投資有価証券売却益	-	938
未払配当金除斥益	159	69
補助金収入	-	2,250
その他	35	757
営業外収益合計	200	4,021
営業外費用		
支払利息	9,691	9,855
合意解約金	-	3,000
その他	1,073	815
営業外費用合計	10,765	13,671
経常利益	228,129	172,121
特別利益		
新株予約権戻入益	440	-
特別利益合計	440	-
税金等調整前四半期純利益	228,569	172,121
法人税等	77,713	58,900
四半期純利益	150,855	113,220
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,855	113,220

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	150,855	113,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,982	△41,367
その他の包括利益合計	26,982	△41,367
四半期包括利益	177,838	71,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,838	71,852
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	846,098	225,300	1,071,399	—	1,071,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	846,098	225,300	1,071,399	—	1,071,399
セグメント利益	321,174	60,329	381,504	△142,809	238,694

(注) 1. セグメント利益の調整額△142,809千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	897,374	243,353	1,140,727	—	1,140,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	897,374	243,353	1,140,727	—	1,140,727
セグメント利益	278,925	60,163	339,088	△157,317	181,771

(注) 1. セグメント利益の調整額△157,317千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。